

本庁舎移転の短期・中期・長期計画

区分・時期	内容
短期計画 (2021年1月1日)	<ul style="list-style-type: none"> ■管理部門等と議会関係を優先して移転します。 管理部門等：市長・副市長室、管理部門（総務課・財務課・企画政策課）、港湾商工課 議会関係：議場・議長室・議会事務局等
中期計画 (移転後5年程度)	<ul style="list-style-type: none"> ■本庁舎全体の移転を実施していきます。 そのために、各支所の活用も整理し、組織の機構改革なども実施します。 また、現在の志布志支所周辺地域の活用を検討します。
長期計画 (志布志支所の耐用年数を想定 2038年～2048年)	<ul style="list-style-type: none"> ■新庁舎の建設を検討していきます。 新庁舎建設のための財源として、整備基金を造成して、候補地を検討します。

今回実施した市民説明会では、本庁舎移転の基本方針や地震・津波対策、志布志支所の施設および駐車場について、移転費用、新庁舎建設など多くの貴重なご意見をいただきました。本庁舎移転については、今後も市役所企画政策課窓口にてご説明しますので、お気軽にお問い合わせください。

※市民説明会でのご意見は、市ホームページに掲載しています。

■問い合わせ先：企画政策課 企画調整係 Tel：474-1111（内線 253・252）

●市民説明会の様子



松山支所



志布志支所



有明地区公民館

会場・開催日	参加者数
志布志支所 1月31日	62名
松山支所 2月4日	50名
有明地区公民館 2月5日	122名



本庁舎移転に関する 市民説明会を開催しました

志布志市では、新しいまちづくりの一環として、市役所本庁舎の位置を現在の有明庁舎から志布志支所に移転するための計画づくりを行っています。

本庁舎移転に関する基本的な考え方をまとめ、1月31日に志布志支所、2月4日に松山支所、そして2月5日に有明地区公民館で市民説明会を開催し、市民の皆さんからの声をお聞きしました。

本庁舎移転に関する基本的な考え方

志布志市では、東九州自動車道や都城志布志道路については、全線開通に向けた年次的な整備促進が図られており、志布志港については、国際バルク戦略港湾としての整備が飛躍的に進むことが見込まれています。臨海工業団地の分譲や企業誘致についても、これまでにない要望を受けている状況です。これらを活用することで、南九州の物流拠点として、大きく発展することが可能となります。

今後、本市が発展していくためには、経済発展の核となる拠点が必要であります。拠点を中心に、人と人の交流、そして、ヒト・モノ・カネ・情報が交流することで大きな経済効果が生まれます。行政と商工、行政と観光、行政と港湾企業がそれぞれ密接に連携することにより、「タイムリーな情報発信」と「スピード感ある施策の推進」ができるものであり、そのための拠点が市役所です。

道路網の整備、港湾の整備により交通アクセスの向上が図られ、この効果を人口増加につなげていくためにも、地理的優位性のある志布志支所を新たなまちづくりの拠点とするものです。これらのことから、志布志市が発展していくために、市役所本庁舎を志布志支所に移転し、新たなまちづくりを推進していきます。